



みなみっ子

57号

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和8年2月24日(火)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

改めてあいさつについて考える!

学校便り56号で書いた「あいさつ」について深堀します。

子どもたちの日常では、関わる大人は限定されています。家族、学校での教職員、立哨してくれている方々、放課後の学童のスタッフ、スポーツ少年団のコーチや監督、習い事や塾の先生など限られています。家族の中でも、祖父母や兄弟・姉妹やいとこ等の関わりが日常的にある子どもは少なくなっています。そのためなのか、コミュニケーションが苦手な子どもが増えているようにも思えます。このような現状であることから、「あいさつ」がこれまで以上に大切ではないかと思います。

あいさつはと言えば礼儀正しい行動ととらえることが多いと思います。しかし、あいさつは単なる礼儀ではなく、少し難しい表現ですが「**存在の承認**」と「**敬意の表明**」です。相手の存在を認め、大切に扱う姿勢を示すことで、信頼関係を築くことへつながります。逆にあいさつをしないことは、相手を無視することと同じであり、冷たく対応されたと感じられる場合があります。怒らせてしまうことになりかねません。つまり、あいさつは相手意識があるかということです。相手のことをどう思っているか、関わろうとしているかが、短いあいさつには含まれています。

子どもにあいさつの習慣を身につけさせることは、社会性や信頼感の育成になります。大人が手本を示すことで、子どもも自然にあいさつを学び、家庭や学校での人間関係が円滑になります。あいさつは「心の扉を開く鍵」として、日常生活の中で小さな幸福や安心感を生み出す力を持っています。

◎あいさつは友達を作る最初の一步です。人に「おはよう」と言うことは、友だちになりたいという気持ちを見せる方法

◎笑顔であいさつすると、相手もうれしくなります。笑顔は自分も相手もハッピーにする魔法のようなものです。いつも笑顔で「おはようございます」とあいさつができるようになってほしいです。

あいさつのレベルを作ってみました。参考にして取り組んでみましょう!目指そうレベル5

レベル0 あいさつをされてもできない。

レベル1 あいさつをされると、言葉での返事はできないが、会釈はできる。

レベル2 あいさつをされると、言葉での返事ができる。

レベル3 あいさつをされると、笑顔で返事ができる。

レベル4 自分から進んであいさつができる。(声の大きさは意識していない)

レベル5 自分から進んで、笑顔で、適度な声の大きさにあいさつができる。



毎日立哨して頂いている方々への感謝

寒い日も、暑い日も、そして雨の日も毎日、子どもたちが登校する時間に交通安全のため立哨して頂いている方々があります。学校の周辺では、イオン付近の屋宜さん、中村さん、グリーンタウン入り口でのみどりの会の皆さん、まんぶく食堂付近の交差点での宮城さん、前川さんがいらっしゃいます。その他にも保護者が輪番で立っています。また、各字でもそれぞれで立哨して頂いています。ありがとうございます。私たちができる感謝の表し方の一つが「あいさつ」だと思います。「おはようございます」「ありがとうございます」「いってきます」などの言葉が、その方々への感謝の表現になります。



学校前の道路開通工事が進んでいます。開通すると地域にとって便利になります。しかし、交通量が増えることで気になることもあります。子どもたちの登下校の交通安全への対応が求められます。学校では再度、交通安全についての周知を図ります。ご家庭でも、機会をつくって交通安全について確認をお願いします。あわせて、立哨して頂ける方を募ります。朝の7時30分ごろから8時までの間、PTAの役割分担とは別に出来る方がいましたら校長まで連絡下さい。よろしくお願いします。